

(4) 資源原単位の推定結果

組織市町村の将来における資源原単位推定を以下のように行った。なお、詳細は、資料編の[表 資料 5-1]から[表 資料 5-3]を参照のこと。

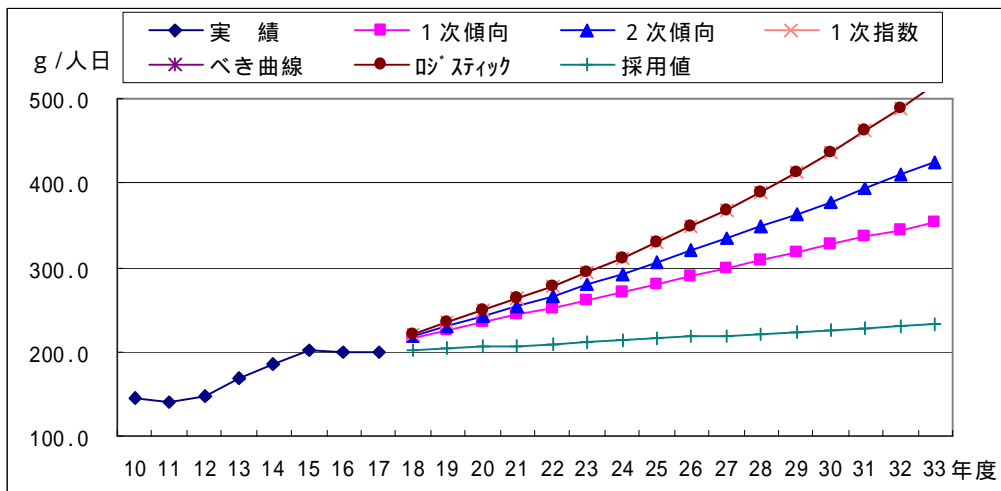
ア あきる野市の資源原単位の推定結果

あきる野市の資源原単位は、平成 15 年度以後は安定しているが、それ以前は増加傾向であった。しかし、推定線に見られるような増加は期待できない。そのため、今後は再資源化を進めるものとして年間 2 g/人日を増加するものとした。

[表 2-2-15] あきる野市 資源原単位推定結果 (単位: g/人日)

年度	実績	1次傾向	2次傾向	1次指数	べき曲線	ロジスティック	採用値
H.10	145.1						
H.15	200.6						
H.17	199.4						
H.20		234.1	242.4	248.1	31.9	248.1	205.4
H.25		280.3	305.8	328.8	-2.0	328.8	215.4
H.30		326.5	377.7	435.9	-34.8	435.8	225.4
H.33		354.2	425.0	516.1	-54.1	516.0	231.4
相関係数		0.9606	0.9617	0.9609	-0.9566	-0.9933	

[表 2-2-14] あきる野市 資源原単位推定結果 (単位: g/人日)



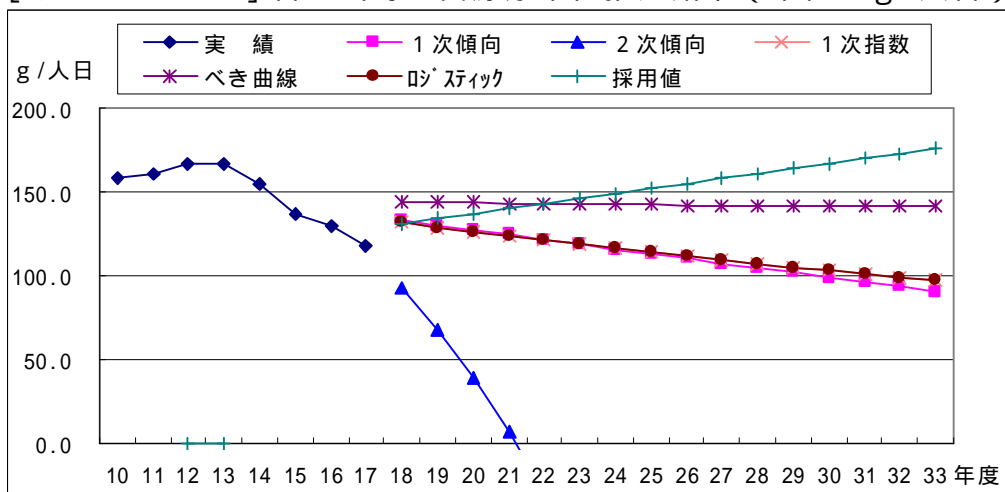
イ 日の出町の資源原単位の推定結果

日の出町の資源は、平成 13 年度から収集量が大きく下がったが、それ以前は増加傾向であった。そのため、今後は、可燃ごみ等の有料化を検討することなどにより、再資源化を推進することとし、過去 3 年間の平均に対し、毎年 3 g/人日を増加するものとした。

[表 2-2-16] 日の出町 資源原単位推定結果 (単位: g/人日)

年度	実績	1次傾向	2次傾向	1次指数	べき曲線	ロジスティック	採用値
H.10	158.2						
H.15	136.9						
H.17	117.5						
H.20		127.2	39.1	126.4	143.5	126.4	137.0
H.25		113.3	-158.3	114.2	142.3	114.2	152.0
H.30		99.4	-447.4	103.2	141.6	103.2	167.0
H.33		91.1	-664.9	97.1	141.2	97.1	176.0
相関係数		0.5012	0.9759	0.4795			

[グラフ 2-2-15] 日の出町 資源原単位推定結果 (単位: g/人日)



ウ 檜原村の資源原単位の推定結果

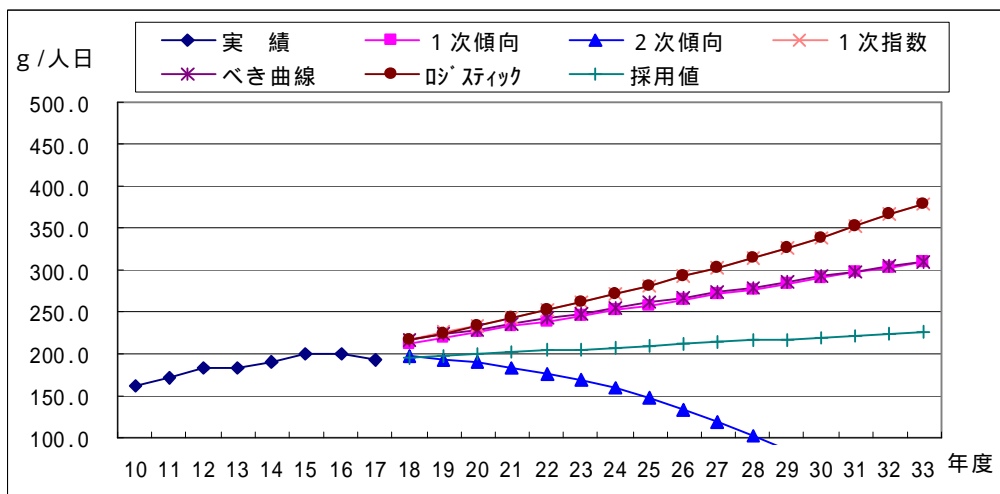
檜原村の資源は、平成 13 年度以前は、増加傾向であったが、最近は横ばい状態である。また、2 次傾向線を除く推定線に近い増加は望めない。

ただし、今後は、さらに再資源化を推進することとし、平成 17 年度の値に対して毎年 2 g/人日ずつ増加するものとした。

[表 2 -2 -17] 檜原村 資源原単位推定結果 (単位 : g / 人日)

年度	実績	1 次傾向	2 次傾向	1 次指数	べき曲線	ロジスティック	採用値
H.10	162.5						
H.15	199.9						
H.17	193.8						
H.20		225.8	189.9	233.6	229.6	233.6	199.8
H.25		258.0	147.1	281.5	261.2	281.5	209.8
H.30		290.1	66.9	339.3	291.8	339.2	219.8
H.33		309.4	0.8	379.5	309.7	379.4	225.8
相関係数		0.5012	0.9759	0.4795			

[グラフ 2 -2 -16] 檜原村 資源原単位推定結果 (単位 : g / 人日)



(5) 搬入量及び処理量の推定結果

前項までの推定結果を基に、将来の搬入量及び処理量を推定した。

ア 発生抑制施策前の搬入量及び減量化率のまとめ

前項までの推定結果をまとめて、次の表に示す。なお、詳細は、資料編の[表資料 6-1]から[表資料 8-4]を参照のこと。(資料編の表題は本表とは異なる。)

また、平成9年度に対する減量化率を、次の表の右欄にまとめた。

なお、組合及び日の出町の可燃ごみ搬入量は、平成19年度から事業系増加分を含んでいるが、合計欄の年間量には含んでいない。また、合計欄の原単位は、資源及び事業系増加分を除いた値である。

[表 2-2-18] 搬入量及び減量化率推定結果(発生抑制施策前)

組合の搬入ごみ量と減量化率の推定結果(発生抑制施策前)

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H.9年度 比原単位 減量化率
		搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
		t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	
H. 9	97,367	21,197	596.4	4,425	124.5	1,207	34.0	5,034	141.6	26,829	754.9	0.0%
H.17	99,732	20,008	549.6	4,382	120.4	1,036	28.5	6,777	186.2	25,426	698.5	-7.5%
H.20	103,000	21,385	555.1	4,556	121.2	1,059	28.2	7,305	194.3	26,485	704.5	-6.7%
H.22	104,378	21,767	557.8	4,609	121.0	1,059	27.8	7,575	198.8	26,920	706.6	-6.4%
H.25	106,693	22,369	561.2	4,693	120.5	1,059	27.2	8,006	205.6	27,606	708.9	-6.1%
H.30	109,492	23,120	565.6	4,783	119.7	1,059	26.5	8,657	216.6	28,447	711.8	-5.7%
H.33	110,899	23,504	567.9	4,825	119.2	1,059	26.2	9,034	223.2	28,873	713.3	-5.5%

あきる野市の搬入ごみ量と減量化率の推定結果(発生抑制施策前)

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H.9年度 比原単位 減量化率
		搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
		t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	
H. 9	77,263	17,835	632.4	3,606	127.9	851	30.2	3,923	139.1	22,292	790.5	0.0%
H.17	80,815	16,193	549.0	3,500	118.7	724	24.5	5,881	199.4	20,417	692.2	-12.4%
H.20	83,574	16,820	551.4	3,593	117.8	742	24.3	6,266	205.4	21,155	693.5	-12.3%
H.22	85,081	17,173	553.0	3,640	117.2	742	23.9	6,503	209.4	21,555	694.1	-12.2%
H.25	87,545	17,747	555.4	3,716	116.3	742	23.2	6,883	215.4	22,205	694.9	-12.1%
H.30	90,506	18,480	559.4	3,792	114.8	742	22.5	7,446	225.4	23,014	696.7	-11.9%
H.33	91,976	18,860	561.8	3,824	113.9	742	22.1	7,768	231.4	23,426	697.8	-11.7%

日の出町の搬入ごみ量と減量化率の推定結果(発生抑制施策前)

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H.9年度 比原単位 減量化率
		搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
		t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	
H. 9	16,580	2,815	465.2	743	122.8	293	48.4	918	151.7	3,851	636.4	0.0%
H.17	15,877	3,267	563.8	772	133.2	241	41.6	681	117.5	4,280	738.6	16.1%
H.20	16,460	4,030	585.1	850	141.5	255	42.4	823	137.0	4,620	769.0	20.8%
H.22	16,382	4,069	594.4	853	142.7	255	42.6	855	143.0	4,662	779.7	22.5%
H.25	16,292	4,107	604.1	858	144.3	255	42.9	904	152.0	4,705	791.2	24.3%
H.30	16,194	4,137	612.8	865	146.4	255	43.1	987	167.0	4,742	802.3	26.1%
H.33	16,156	4,145	615.6	870	147.6	255	43.2	1,038	176.0	4,755	806.4	26.7%

檜原村の搬入ごみ量と減量化率の推定結果（発生抑制施策前）

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H.9年度 比原単位 減量化率
		搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
		t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	t	g/人日	
H. 9	3,524	547	425.3	76	59.1	63	49.0	193	150.0	686	533.3	0.0%
H.17	3,040	548	493.9	110	99.1	71	64.0	215	193.8	729	657.0	23.2%
H.20	2,966	535	493.9	113	104.8	62	57.3	216	199.8	710	655.8	23.0%
H.22	2,915	525	493.9	116	108.6	62	58.3	217	203.8	703	660.7	23.9%
H.25	2,856	515	493.9	119	114.3	62	59.5	219	209.8	696	667.7	25.2%
H.30	2,792	503	493.9	126	123.8	62	60.8	224	219.8	691	678.1	27.2%
H.33	2,767	499	493.9	131	129.5	62	61.4	228	225.8	692	685.2	28.5%

前記の表から、このままでごみ量が推移した場合は、減量化の目標が達成できないことがわかる。

なお、この場合の熱回収計画施設の規模は、平成30年度を計画目標年度とすると、次の表のとおり124t/日である。

[表2-2-19] このまま推移した場合の溶融施設規模

年度	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	資源		掘起し ごみ量 t	溶融量合計		
	搬入量	搬入量	搬入量	搬入量	残さ		年間量	日量	規模
	t	t	t	t	t		t	t/日	t/日
H.20	21,385	4,556	1,059	7,305	343		27,343	74.9	102
H.24	22,184	4,669	1,059	7,866	370	4,000	32,282	88.4	120
H.25	22,369	4,693	1,059	8,006	376	4,000	32,497	89.0	121
H.26	22,553	4,717	1,059	8,146	383	4,000	32,712	89.6	122
H.27	22,736	4,744	1,059	8,289	390	4,000	32,929	90.2	122
H.28	22,865	4,756	1,059	8,411	395	4,000	33,075	90.6	123
H.29	22,992	4,771	1,059	8,533	401	4,000	33,223	91.0	124
H.30	23,120	4,783	1,059	8,657	407	4,000	33,369	91.4	124
H.33	23,504	4,825	1,059	8,782	413	4,000	33,801	92.6	125

注1) 可燃、不燃、粗大ごみの全量及び資源の可燃残さは、溶融する。

注2) 施設の計画目標年度は、平成30年度とする。

注3) 規模は、日量を年間稼働率である0.73644で除した。(詳細は、後述)

イ 発生抑制施策後の搬入量及び減量化率のまとめ

減量化を進めるため、組織市町村では、第2章3節及び5節の施策を進める。このことにより下記の量の減量化を行う。

なお、組織市町村によって、人口の増減があるため、減量化率は、可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみを合計した原単位を減量するものとする。

(ア) あきる野市の減量化

あきる野市では、平成16年度の戸別収集・有料化により、すでに多くの減量化が行われている。そのため、平成19年度から可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみともに毎年0.1%の減量化を行う。

(イ) 日の出町の減量化

日の出町では、可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみともに平成18、19年度は、年間2%の減量化を行い、平成20年度に予定している有料化により17%減量化する。また、可燃ごみについては、平成21年度から平成23年度まで0.75%、以後0.2%の減量化を行い、不燃ごみ及び粗大ごみについては、平成21年度から毎年0.75%の減量化を行う。

(ウ) 檜原村の減量化

檜原村では、平成22年まで毎年、可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみともに4.7%の減量化を行い、その後は、毎年0.2%の減量化を行う。

(エ) 減量化の結果

以上の減量化を行った後の、組合及び組織市町村の原単位減量化率結果を、次ページの表及びグラフに示す。その推定から、国の減量化目標年度〔表2-3-1〕参照〕である平成22年度における、組合及び組織市町村の達成状況は、次のとおりである。

国	= 平成22年度	5.0%
組 合	= 平成22年度	9.5%
あきる野市	= 平成22年度	12.9%
日の出町	= 平成22年度	5.0%
檜原村	= 平成22年度	5.4%

[表 2-2-20] 搬入量及び減量化率推定結果（発生抑制施策後）

組合の搬入ごみ量と減量化率の推定結果（発生抑制施策後）

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H9年度比 原単位 減量化率
		搬入量 合計	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
			g/人日		t		g/人日		t		g/人日	
H. 9	97,367	21,197	596.4	4,425	124.5	1,207	34.0	5,034	141.6	26,829	754.9	0.0%
H.17	99,732	20,008	549.6	4,382	120.4	1,036	28.5	6,777	186.2	25,426	698.5	-7.5%
H.20	103,000	20,492	531.4	4,356	115.9	995	26.5	7,305	194.3	25,843	687.4	-8.9%
H.22	104,378	20,684	529.4	4,373	114.8	983	25.8	7,575	198.8	26,040	683.5	-9.5%
H.25	106,693	21,105	528.7	4,426	113.7	971	24.9	8,006	205.6	26,502	680.5	-9.9%
H.30	109,492	21,585	527.2	4,457	111.5	957	23.9	8,657	216.6	26,999	675.6	-10.5%
H.33	110,899	21,806	526.0	4,463	110.3	949	23.4	9,034	223.2	27,218	672.4	-10.9%

あきる野市の搬入ごみ量と減量化率の推定結果（発生抑制施策後）

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H9年度比 原単位 減量化率
		搬入量 合計	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
			g/人日		t		g/人日		t		g/人日	
H. 9	77,263	17,835	632.4	3,606	127.9	851	30.2	3,923	139.1	22,292	790.5	0.0%
H.17	80,815	16,193	549.0	3,500	118.7	724	24.5	5,881	199.4	20,417	692.2	-12.4%
H.20	83,574	16,741	548.8	3,587	117.6	741	24.3	6,266	205.4	21,069	690.7	-12.6%
H.22	85,081	17,012	547.8	3,624	116.7	739	23.8	6,503	209.4	21,375	688.3	-12.9%
H.25	87,545	17,456	546.3	3,691	115.5	735	23.0	6,883	215.4	21,882	684.8	-13.4%
H.30	90,506	17,964	543.8	3,746	113.4	733	22.2	7,446	225.4	22,443	679.4	-14.1%
H.33	91,976	18,206	542.3	3,767	112.2	732	21.8	7,768	231.4	22,705	676.3	-14.4%

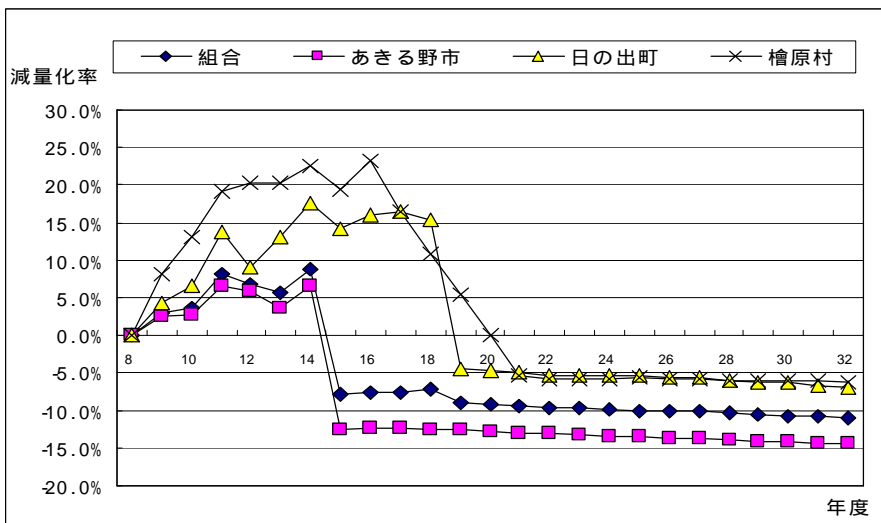
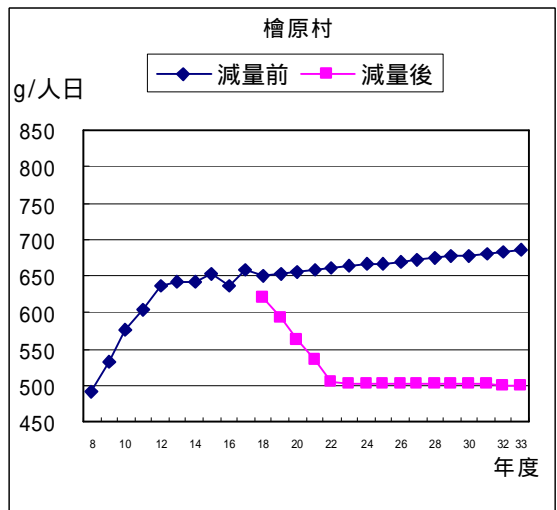
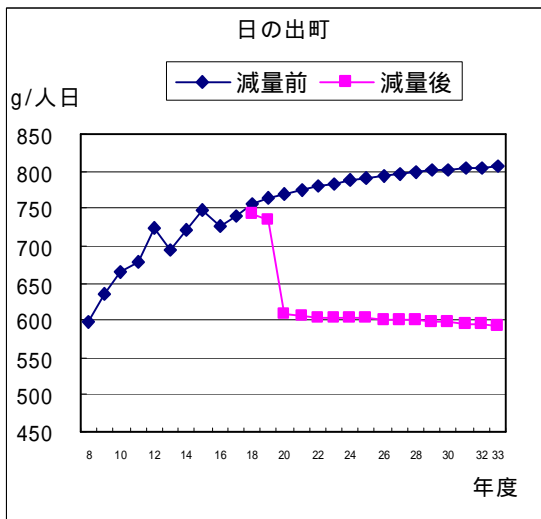
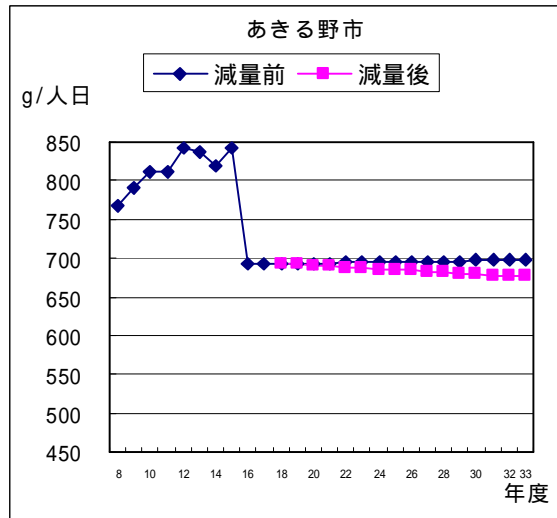
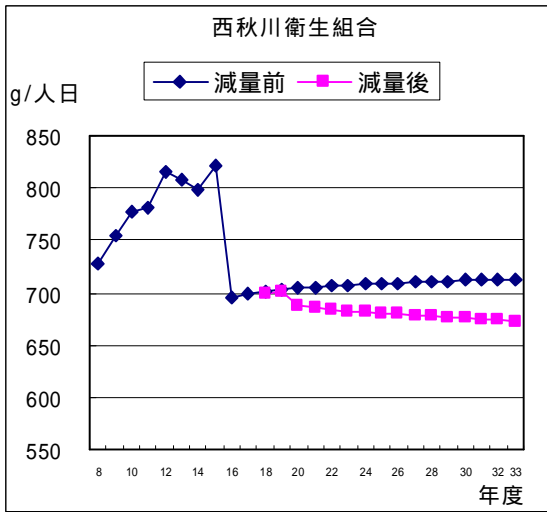
日の出町の搬入ごみ量と減量化率の推定結果（発生抑制施策後）

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H9年度比 原単位 減量化率
		搬入量 合計	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
			g/人日		t		g/人日		t		g/人日	
H. 9	16,580	2,815	465.2	743	122.8	293	48.4	918	151.7	3,851	636.4	0.0%
H.17	15,877	3,267	563.8	772	133.2	241	41.6	681	117.5	4,280	738.6	16.1%
H.20	16,460	3,292	462.2	672	111.8	201	33.5	823	137.0	3,650	607.5	-4.5%
H.22	16,382	3,270	460.7	661	110.6	197	33.0	855	143.0	3,613	604.2	-5.0%
H.25	16,292	3,258	461.2	646	108.6	192	32.3	904	152.0	3,581	602.2	-5.4%
H.30	16,194	3,244	461.7	619	104.7	182	30.8	987	167.0	3,530	597.2	-6.2%
H.33	16,156	3,229	460.2	603	102.2	176	29.9	1,038	176.0	3,493	592.3	-6.9%

檜原村の搬入ごみ量と減量化率の推定結果（発生抑制施策後）

年度	人口 人	可燃ごみ		不燃ごみ		粗大ごみ		資源		合計(除:資源)		H9年度比 原単位 減量化率
		搬入量 合計	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	搬入量	原単位	年間量	原単位	
			g/人日		t		g/人日		t		g/人日	
H. 9	3,524	547	425.3	76	59.1	63	49.0	193	150.0	686	533.3	0.0%
H.17	3,040	548	493.9	110	99.1	71	64.0	215	193.8	729	657.0	23.2%
H.20	2,966	459	424.3	97	90.0	53	49.2	216	199.8	609	562.5	5.5%
H.22	2,915	402	377.8	88	83.1	47	44.6	217	203.8	537	504.7	-5.4%
H.25	2,856	391	374.9	89	85.7	44	42.1	219	209.8	524	502.7	-5.7%
H.30	2,792	377	369.9	92	89.8	42	41.5	224	219.8	511	501.4	-6.0%
H.33	2,767	371	367.0	93	91.9	41	41.0	228	225.8	505	500.0	-6.2%

[グラフ 2-2-17] 発生抑制施策前後の原単位及び減量化率の推移
 (原単位は、資源を除く値)



ウ ごみ発生量等のまとめ

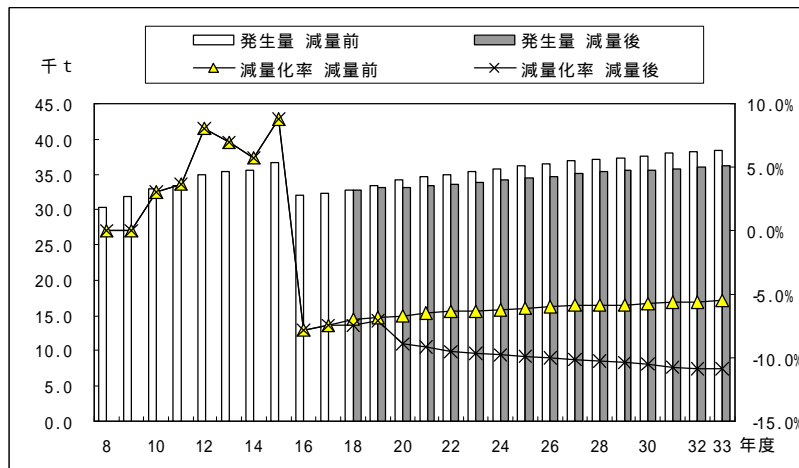
(ア) ごみ発生量及び減量化率の将来推定

組合のごみ発生量及び減量化率の将来推定を、次のグラフに示す。

ごみ発生量の推定は、現状のまま推移する場合と発生抑制を行う場合の双方を掲載した。

- a ごみ発生量は、平成 16 年度にあきる野市が行った戸別収集・有料化等により、大幅に減少しているが、将来推定では増加傾向となる。この原因の一つは、あきる野市の人口増加によるものである。
- b 減量化率は、平成 16 年度で大幅に向上した。しかし、将来の傾向としては、発生抑制施策を行なわなかった場合は、微少ではあるが増加傾向が見込まれる。

[グラフ 2-2-18] ごみ発生量及び減量化率の将来推定



(イ) 原単位の将来推計

組合の減量化施策前後の原単位の将来推定を、次のグラフに示す。

あきる野市の戸別収集・有料化の影響で、平成 16 年度に原単位は大きく下がっており、今後も減量化施策により、微少ではあるが、減少するものと推定する。

[グラフ 2-2-19] 原単位の将来推定

